

第41回 独立行政法人都市再生機構 契約監視委員会  
審議概要

開催日	令和元年9月3日（火）～9月12日（木）
開催場所	持ち回り開催
出席委員	<p>長沢 美智子（弁護士（東京丸の内法律事務所））  高木 勇三（公認会計士（監査法人五大））  長村 彌角（公認会計士（有限責任監査法人トーマツ））  鈴木 豊（学校法人青山学院常任監事・青山学院大学名誉教授）  飛松 純一（弁護士（飛松法律事務所））  吉田 滋（都市再生機構監事）  上澤 秀仁（都市再生機構監事）</p> <p>※水上貴央委員は欠席</p>
審議事項等	<p>審議事項  令和元年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について</p>
審議概要等	<p>別紙のとおり  なお、意見・質問欄には各委員からの発言要旨を記載しており、委員会としての意見等を記載しているものではない。</p>

(別紙)

意見・質問	説明・回答
<p>審議事項 令和元年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について</p> <p>○1者応札が増加した引越業務はどのような業務か。</p> <p>○1者応札、1者応募となった契約について、参加しなかった理由を事業者からヒアリングした結果、技術者確保が困難で業務体制が組めないといった意見が多かったとのことだが、技術者確保が困難な理由は公的のところは利幅が少ないと認識し、事業者が積極的に手を上げない事業環境なのではないかと思う。</p>	<p>・令和元年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約実績について、前年同期に比しての契約実績額及び1者応札・1者応募の件数の変動要因となっている複数年契約の状況等について説明。</p> <p>・令和元年度第1四半期の契約のうち、前回1者応札であった契約がどれくらい複数者応札に改善したのか又は改善しなかったのかを説明。</p> <p>・役職員の転勤等に伴う引越、団地再生事業に伴う居住者の住居移転に係る引越業務である。</p>